

令和8年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽 I	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	Mousa 1 (教育芸術社)					
学習の到達目標	1 音楽的感性・技能を身に付け、音楽を形づくる要素を感知するとともに、音楽の生み出す曲想やリズムなどの美しさを感じ取りながら、さまざまな演奏に関する技術と自己表現能力を身に付ける。 2 音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度と、生涯にわたって音楽を愛好する態度と基礎技術を身に付ける。					
評価の観点	a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度	
	1 基本的な楽典の知識や既習曲への理解ができる。 2 楽曲の演奏法、楽器の特徴や構造などを理解する。		1 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り創造的に音楽表現に取り組む。 2 音楽を形づくる要素を感知し、楽曲の特徴・構造を理解する。 3 音楽の文化的背景を理解し、楽曲の美しさを感じ取る。		1 幅広いジャンルの音楽に対して興味・関心を高めているとともに意欲的に表現や技術の習得に取り組む。 2 音楽の良さや美しさを感じ取ろうと主体的に取り組む。	
評価の方法	・学習活動への参加の仕方や態度（出欠） ・実技テスト ・筆記テスト ・鑑賞ノート					
	単元		主な学習内容			
前期	「校歌」「歌唱曲」 ・斉唱 ・手話歌 「リズム・アンサンブル」 ・ボディ・パーカッション ・リズム打ち ・Plymouth Rock 「ハンドベル」 ・ドレミの歌 ・小さな世界 「鑑賞」		・発声のメカニズムについて理解し、のびやかな美しい歌声で校歌など二部合唱する。また、歌詞の意味を正しく理解し、曲想を考え、表現に反映させる。 ・リズムを楽譜から読み取り、リズム打ちを身に付けると同時に、グループでボディ・パーカッションに取り組む。叩き方や強弱、見せ方などを工夫することで表現する喜びを感じ取る。 ・全員でハンドベル演奏に取り組むことで、協力しながら、仲間と一つの音楽を作り上げる喜びを感じ取る。			
後期	「コードによる伴奏法」 ・鍵盤楽器の歴史 ・コードについて ・旋律奏 ・二重奏 ・コード奏 ・コードによる伴奏 「DTMによる編曲」 ・iPadの操作に関する基礎知識 ・GarageBandの操作法 ・旋律打ち込み ・伴奏に適した楽器 ・アレンジ 「鑑賞」		・キーボードを使用し、基礎的な演奏法を身に付ける。旋律奏、二重奏に取り組んだ後、コードの知識を身に付け、コードを用いた伴奏を弾くことを目標とする。 ・GarageBandを使用し、さまざまな楽器を使用したアレンジ作業を行う。クラシカルな楽器からエレキギターなどの電子楽器までを自分の感性で選択し、一つの楽曲をアレンジすることで、音楽の多様性や可能性を見出す感性を育む。			